

基本目標 【P23, 24】		ライフステージ別目標【P25～45】				
		乳幼児期（0～5歳） 体と心の根っこをはぐくむ【P26～29】	少年期（6～15歳） 夢と希望と自信をはぐくむ【P30～33】	青年期（16～29歳） 自分らしさをはぐくむ【P34～37】	成人期（30～64歳） 自己の可能性と次世代をはぐくむ【P38～41】	高齢期（65歳以上） 社会と自己をはぐくむ【P42～45】
自己実現 ・意志力 ・勤労観 ・金銭管理能力		「人」「モノ」に積極的にかかわり、いろいろな「ためし」をします。ごっこ遊びや買い物の経験を通して、お金の役割を知ります。	学校の社会体験活動や親の働く姿などにより、「自分はこうなりたい」という夢と希望を膨らませ、働く意義を理解します。労働の対価としてのお金の意義を理解し、金銭に関する社会の仕組みを学びます。	自分が正しいと信じることを進んで表現・実践し、結果に対しては、改善策を考えます。職業生活の充実のために、様々な教育制度を積極的に活用します。	自主的に様々な活動の企画立案や実践を行い、その結果に対しての責任をもちます。夢を追いながら、積極的に自己実現に取り組み、その姿を子どもに「そのまま」見せ、「夢をもつことの大切さ」を伝えます。	過去の経験や知識を基に生涯学習に取り組み、新しい自己の発見に努めます。自己の生きざまについて、地域の子もたちや次世代と語り、子どもたちの生き方を考えさせるように努めます。
課題解決 ・問題解決能力 ・語学力 ・情報技術力		よく笑い、よく泣き、十分に自分の感情を表現します。遊びながら様々な表現方法を身に付けます。進んで本に親しむようにします。パソコン等と仲良しになります。	自分の考えをよく話し、相手の意見との違いに気づき、互いにより良い解決方法を発見します。正しい日本語を身に付けるとともに、外国語の習得に心がけます。情報モラルを守り、情報機器を活用します。	将来のイメージを設定し、「仕事をする」と「生きること」を対比させながら、課題を見つけ出し、その解決に向けて創造的に取り組みます。国際交流に活用できる語学力や様々な表現力を身に付けます。	国を超えた様々な人々との交流を通して、豊かな表現力を身に付けます。地域の子もや青年に対し、自己の経験や知識、技能の伝達を通して、「学ぶ」ことの意義を教えます。	職業生活や趣味における自己実現を目指し、積極的に自己の課題解決に取り組みます。社会の「ご意見番」として、長年培った経験や知恵、技術を活用し、ボランティア活動などを通して次世代の育成に取り組みます。
技術・文化の伝承、科学の理解 ・創造性 ・思考力		ものづくり体験教室などで、試行錯誤しながら、ものづくりに取り組みます。	原理や仕組みを考え、創意工夫しながら、ものづくりに取り組みます。	多様な原理や仕組みを取り入れ、独創的なものづくりに取り組みます。	職業や趣味で身に付けた様々な技術を子どもたちや青年に伝承し、新しいものを創り出す喜びを伝えます。	職業生活や趣味で身に付けた様々な技術を子どもたちや次世代に伝承し、新しいものを創り出す喜びを伝えます。
思いやり、共生 ・人間関係形成力 ・思いやり ・死生感 ・倫理感		遊びの中で、友達と触れ合い、けんかをしたり仲直りをしたりしながら、より良い友達関係をつくります。自然の厳しさや素晴らしさ、生き物の生死にふれ、感動や命を大切する気持ちをもちます。	自然や社会の人々と触れ合いながら、自然の偉大さ、人の温かさを知り、集団の一員としての自覚と責任を持ちます。乳幼児や高齢者などとの触れ合いを通して、命に限りがあることを自覚し、自己のより良い生き方を考えます。	国を超えた人々との交流などにより、「異なること」を受容し、共に生きようとします。地域の「ニューリーダー」として、年下の子どもたちを対象とした活動などを企画立案し、責任をもって実践します。	家族一人一人がもつ「らしさ」を尊重し、より良い家庭を築きます。乳幼児や高齢者への奉仕活動などを通して、子どもたちに「命の大切さ」や「命には限りがあること」を伝え、自己の生き方を考えさせます。	社会の人々との触れ合いを深め、互いに思いやる社会生活をします。より良い社会づくりのリーダーとして、長年培った知恵、経験、技術を活用し、次世代を育成します。
文化創造 ・自国文化理解 ・異文化理解 ・文化の創造		地域の自然に触れたり、祭りなどの伝統行事に進んで参加したりするようにします。外国の友達と仲良くします。	進んで、郷土の歴史、伝統文化、芸術に触れるようにします。外国人との交流を通して、異文化への関心と理解をもつようにします。	様々な文化・芸術を学び、異文化交流を実践します。高齢者との交流の中で、郷土の歴史、伝統文化を学び、それらを子どもたちに伝えます。	身に付けた文化・芸術等により、世界の人々との交流に取り組みます。自己の生きがいとして、郷土の自然や歴史、伝統文化を次世代に伝えます。	長年の文化活動で培われた経験や知識を、社会に生かすようにします。自己の生きがいとして、郷土の自然や歴史、伝統文化を次世代に伝えます。
きまり遵守 ・基本的な生活習慣 ・権利や義務の理解 ・社会の一員の自覚		「起床」「食事」「睡眠」などの基本的な生活習慣を身に付けます。家庭や幼稚園・保育所のきまりを守ります。交通規則など社会のきまりを守ります。	学校や地域のルールを守り、他人に迷惑をかけないようにします。社会の一員としての権利や義務を正しく理解します。	県や国など地域よりさらに大きな「社会」を考え、身近な「モラル」から実践します。道路交通法や刑法などの法令を遵守します。社会の一員としての義務を果たします。	社会的な責任を自覚し、より良い地域や社会づくりに取り組みます。家庭や地域の子もたちに、法令遵守の大切さを教えます。	社会的な責任を自覚し、より良い社会づくりに取り組みます。社会全体に向け、社会生活をする上でのきまりを守る重要性を知らせます。
健康体力 ・スポーツに親しむ態度 ・食の自己管理能力		友達と、外で元気に遊びます。好き嫌いなく、規則正しい食事をします。	ルールを守り、仲間との関係を深めながら、進んでスポーツに取り組みます。自己の健康などに配慮した食事をします。	スポーツやレクリエーションに積極的に取り組み、体力向上に心がけます。規則正しい生活と自己管理の姿勢を身に付けます。	スポーツやレクリエーションなどを通して、積極的に健康管理に努めます。世代を超えたスポーツの指導や交流により、次世代の育成に取り組みます。	体力保持のために、自分にあったスポーツやレクリエーションに取り組みます。健康について考えた食事の仕方を伝えます。
支援 実施 主体	家庭	・子どもとの信頼関係の形成に努める。 ・子どもの「やってみたい」という感情を尊重し、やってはいけないことを理解させる。	・子どもに様々な集団活動への参加を促し、結果に対しては、適切に賞賛や励ましを行う。 ・家事の手伝いなどにより、家族の一員である自覚と責任感の育成に努める。	・青年の夢を膨らませ、先輩社会人として、的確なアドバイスに努める。 ・青年の自立をめざし、何事も自分で決め実行し、結果に対して責任をもたせるよう努める。	・家庭における子育ての重要性を認識し、愛情豊かな子育てに努める。 ・配偶者や祖父母等の人間性を受け入れ、家族とのより良い人間関係の形成に努める。	・家族との温かな人間関係のもと、人生等に前向きな姿勢がもてるように努める。 ・家庭のかけがえのない存在である認識をもたせる。
	幼稚園 保育所 学校	・「学ぶ姿勢」や「他を思いやる姿勢」などバランスよく身に付けさせる。 ・遊びを通して、自己主張や相手を受け入れて仲良くできる力を身に付けさせる。	・奉仕活動などにより、奉仕の精神や職業観、勤労観の育成に努める。 ・生命尊重の気持ちを持たせる教育を充実させる。	・就職や進路変更などにも柔軟に対応できる高等教育の仕組みを通して、自己実現に向けた様々な知識や技能を提供する。	・保護者に対して、子育て情報を提供するとともに、相談機能の充実に努める。 ・職業能力開発を支援する教育等の充実に努める。	・高齢者の自己実現や職業能力開発を支援するため、知識や技術を習得できる教育等の充実に努める。
	地域 社会等	・子どもたちの切磋琢磨の場や体験活動等の場の提供に努める。 ・感動や命を大切する心を育てるために、自然や動植物と触れ合う場の設定に努める。	・異年齢集団による活動等を通して、人間関係を形成する手法が身に付くように努める。 ・活動の計画・実行・評価を子ども自らに行わせ、問題解決能力と自主性の育成に努める。	・世代を超えた交流を通して、責任感と社会的に認められる自分らしさを獲得させる。 ・乳児や高齢者に対する奉仕活動等により、生命尊重の精神をもたせる教育を充実させる。	・地域活動により子どもとのより良い関係の構築や自己実現に向けたサポートをする。 ・成人のもつ知恵や技術を生かした「ものづくり体験教室」などの場の設定に努める。	・様々な人々との交流により、社会的な自己存在感が獲得できるように努める。 ・様々な健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動の機会の確保に努める。
	企業	・保護者が、家庭教育などへ積極的に取り組める職場環境（休暇制度等）を充実させる。 ・幼稚園・保育所の教育（保育）活動や家庭教育、地域活動への協力を行う。	・保護者が、家庭教育などへ積極的に取り組める職場環境（休暇制度等）を充実させる。 ・職業観、勤労観を身に付けさせるため、学校教育の社会参加体験などへの協力に努める。	・青年の望ましい職業観や勤労観を身に付けさせるため、学校教育の社会参加体験や就業体験制度などへ、積極的に協力するように努める。	・家庭教育や学校教育等に保護者が積極的にかかわれる職場環境づくりに努める。 ・従事者の自己実現のための職場環境（休暇制度等）づくりに努める。	・働く意欲のある高齢者を積極的に雇用し、高齢者が社会貢献する機会の確保に努める。
行政	・「子育て相談ネットワークの整備」「子育て情報の発信等の家庭教育支援」「市民活動団体等支援」「幼稚園・保育所の教育（保育）支援」に努める。	・「子ども相談ネットワークの整備」「子どもに関する情報の発信等の家庭教育支援」「市民活動団体等支援」「学校教育支援」に努める。	・「悩み等に関する相談ネットワークの整備」「自己実現に関する情報の発信」「市民活動団体等の支援」「学校教育支援」に努める。 ・進路変更に対応する教育の仕組みを構築する。	・「子育て相談ネットワークの整備」「子育て情報の発信等の家庭教育支援」「市民活動団体等の支援」「幼稚園・保育所、学校教育の支援」に努める。	・奉仕活動や生涯学習の講師など各種行事等の指導者として、高齢者の優れた英知を生かす場を確保し、高齢者が生きがいをもてる仕組みを構築する。	